

PROGRAM プログラム

- 1 | 糟谷さんに聞く「これからのケアとコミュニティ」
- 2 | 糟谷さんと話す「奈良はどうする？アートとケアとコミュニティ」

©2025年10月26日(日) 14:00-16:00 | 開場 13:30

ゲスト 若野 達也 さん
(一社)SPSラボ若年認知症サポートセンターきずなや代表理事

コーディネーター 中村 陽一 さん 立教大学名誉教授

1部は、糟谷さんが東京で実践するこれからのケアとコミュニティのあり方を聞きます。2部では、自分たちの地域でのアートとケアとコミュニティについて会場をまじえてセッション！ゲストに、奈良で若年認知症の人たちのサポートを行う若野達也さんを迎えます。

お申し込み

メール・QRコード・電話よりお願いします。
[メール] ableart@popo.or.jp

お申込はこちら



参加費

 (当日受付でお支払いください)

トークのみ 1,000円 / トーク&書籍 3,000円*

*『境界線を曖昧にするーケアとコミュニティの関係を耕す』(2,420円)のセットです。

会場

たんぼぼの家 わたぼうしの家ホール (奈良市六条西3-25-4)

主催・お問い合わせ

〒630-8044 奈良市六条西3-25-4 たんぼぼの家
アート&ケアコミュニティプロジェクト (担当 江崎、後安)
[TEL] 0742-43-7055 [FAX] 0742-49-5501

総合病院、訪問看護ステーションに勤務していた

10のキーワード

糟谷さんを知る

空きアパートを活用して
コミュニティ「たまれ」を運営

本の表紙は、たんぼぼの家のアーティスト、
藤井玲衣子さんが描きました！

こんにちわ。今回本を出版することになり、たんぼぼの家でケアとコミュニティの話をしたくて、相談をしました。家族の介護、地域ケア、制度の外のケア、ぼくの話をつっかけに、みんなでケアや地域やコミュニティのこと、話ませんか？

糟谷明範

営むカフェ「FLAT STAND」には本が並ぶ

2部
要諦を論議する

家族・夫婦・恋人などの「枠組み」は
ちょっと息苦しい

現在は一人でログハウスに暮らしている

ってどんな人？

制度の内と外と行き来しながら
医療・福祉をほくしている

2014年に
株式会社シンクハピネスを創業

こなになに？ 糟谷さん

アート&ケア
コミュニティ
プロジェクト

たんぼぼの家は、アート&ケアコミュニティプロジェクトをはじめます！
わたしたちは、アートとケアを軸に、誰もが希望をもって生きていける社会をめざしています。
障害のある人や国内外の人たちと活動をはじめたのは1973年のことでした。
障害をめぐるケアも、奈良の地域コミュニティも変化しつつある今。明日のアートとケアとコミュニティをともに考えるプロジェクトとして、2025年に立ち上げました。



糟谷明範さんあきのりに聞く、と話す



ケアとコミュニティの関係を耕すこと



著者：糟谷明範
発行元：ブルーブラックカンパニー
2025.9.19 発売 ¥2,420 (税込)

出版記念イベント「境界線を曖昧にする
ーケアとコミュニティの関係を耕すー」

糟谷明範さんは、いろいろななかたちでケアとコミュニティの関係を耕す理学療法士。東京都府中市では、訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所を営んでいます。また、コーヒースタンドや菓子製造、こどもの居場所づくりなどを行う人たちが入居するアパートを運営しています。そんな糟谷さんと一緒に「ケアとコミュニティ」について聞き、話す出版記念イベントです。

2025

10

26

SUN

14:00-16:00 | 開場 13:30

at たんぼぼの家 わたぼうしの家ホール
(奈良市六条西3-25-4)

なにになに